

生きて帰る 生きて還す

# 雪風 YUKIKAZE

竹野内豊 玉木宏 奥平大兼 當真あみ

藤本隆宏 三浦誠己 山内圭哉 川口貴弘 中林大樹 田中美央

田中麗奈 益岡徹 石丸幹二 中井貴一

主題歌:「手紙」(Uru) リミックス・オーディオ・マスター・レコード

脚本:長谷川康夫 撮影監督:栗生高秀 VFX監督:オダイセイ 計算:岩代大樹 閲覧:山田敏久

協力:防衛省 海上自衛隊 摄影協力:平塚市 茅ヶ崎市 「小説版 雪風 YUKIKAZE」(小林圭太郎) 製作:YUKIKAZE PARTNERS 製作プロダクション:デステニー 配給:ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント/バンダイナムコフィルムワークス

©2025 Yukikaze Partners.



8.15

戦い抜き、  
命を救い続けた艦。  
その史実に基づく物語。

たった80年前、  
海は戦場でした。

太平洋戦争中に実在した駆逐艦「雪風」。駆逐艦は誰もが知る「大和」や「武藏」といった戦艦に比べ、遙かに小型で軽量、高速で小回りが効く。その機動性を活かし、先陣を切って魚雷戦を仕掛け、艦隊を護衛し、さらに兵員や物資の輸送、上陸支援、沈没船の乗員救助など、海の何でも屋、海軍一の働き手として数々の戦場で活躍した。なかでも「雪風」は、敵弾をかいくぐりながらその任務を果たし、必ず生き抜いた。そして決まって戦場に留まると、沈没する僚艦から海に投げ出された仲間たちを救い、共に帰還させた。戦後は「復員輸送船」としての航海を続け、外地に取り残された人々、約13,000名を日本に送り返した。映画『雪風 YUKIKAZE』はその驚くべき史実を背景に、太平洋戦争の渦中から戦後、さらに現代へと繋がる激動の時代を懸命に生き抜いた人々の姿を、壮大なスケールで描き出す。

脚野内豊 玉木宏 奥平大兼 富貴みみ  
藤本隆宏 三浦誠己 山内圭哉 川口貴弘 中林大樹 田中美央  
田中麗奈 益岡徹 石丸幹二 中井貴一

片桐久道 川島潤哉 加賀美一 三宅順 岩佐義典 渡邊りか 佐野利一 鹿野浩二 小野寺洋 勝谷健 小林之介 国島直希 横尾克知  
鶴島源太郎 西脇一朗 三浦知念 水原直 清田裕香 杉木大輔 川郷司郎平 西山了了 朝井大輔 伊藤祐樹 上谷主介  
金田昇 野島透也 金田昇 石岡駿馬 桥ゆかり 重松良 田山幸伸 原春奈 松本瑛貴 浅野千鶴 高橋映美 斎藤有树花  
齋藤久人 岸田田三 幸井真帆 末永靖紀 工藤俊介 田代隆秀 斎藤由久

音楽: 手紙 (Uruwari - ユーラウラリア・アラシ・タマシヨ)

制作会社: 河野龍 門限大輔 製作: 木下俊介 木川信 白神文史 前田一 小林栄太朗 中野三二 多木良國  
撮影監督: 桑本正秀 照明: 長崎達也 錄音: 佐伯謙一 美術: 金田克美 新田隆之 装飾: 指尾敦介 编集: 清野英基 音楽: 吉代太郎 VFX監修: オイツセイ 監督: 山田敏久  
企画: 小池洋平 高橋紀成 スーパーバイザー: 福井順敬 脚本: 長谷川東一 鹿田健一 撮影監督: 桑本正秀 照明: 長崎達也 錄音: 佐伯謙一 美術: 金田克美 新田隆之 装飾: 指尾敦介 编集: 清野英基 音楽: 吉代太郎 VFX監修: オイツセイ 監督: 山田敏久  
協力: 防衛省 海上自衛隊 撮影協力: 平塚市 孝・崎市 海洋協力: LIFESAVING CLUB 撮影所: 角田大輔スタジオ リマーティスティオ DI: 佐藤ラボ・テック 東映デジタルセンター

製作: YUKIKAZE PARTNERS 製作プロダクション: デスティニー 配給: ニュービクチャーズ エンタインメント バンダイナムコフィルムワークス ©2025 Yukikaze Partners.

## STORY

真珠湾奇襲攻撃による日米開戦以降、ミッドウェイ、ガダルカナル、ソロモン、マリアナと、すべての苛烈な戦いを生き抜き、どの戦場でも海に投げだされた多くの仲間たちを救い、必ず共に日本に還って来た一隻の駆逐艦があった。その名を「雪風」。いつしか海軍ではこの艦を「幸運艦」と呼ぶようになる。それは沈着冷静な艦長の卓越した操艦技術と、下士官・兵を束ね、彼らから信頼される先任伍長の迅速な判断によるものだった。時にぶつかりながらも、互いに信頼し合っていく二人。そして「雪風」は、ついに日米海軍が雌雄を決するレイテ沖海戦へと向かうことになる…。

